

## 原木シタケ栽培作業の省力化( )

### 1 研究のねらい

原木シタケ栽培の作業で重労働であるホダ木の移動作業(天地返し、ホダ起し等)を軽減するための省力化試験を行ったので、事例を報告します。

### 2 調査方法と結果

(1)調査方法等:平成16年6月9日から同年6月25日まで林業技術センターの人工ホダ場において、従来のヨロイ伏せ(以下「従来方式」という)と、鋼管(長さ5m、直径50mm)2本を市販の安価な車止め用バリケードに取付け(上部高68cm、下部高28cm)、下部鋼管に合掌伏せしたもの(以下「新方式」という)とについて天地返しの作業に要する時間を調査した。

調査は、当年植菌したホダ木50本(平均直径8.9cm)を用い、新方式の下部鋼管に伏せ込んだものと従来方式でのヨロイ伏せを行なったものとの間で天地返しに要する時間を調査し、1m<sup>3</sup>当りに換算して時間を比較した。

作業はヨロイ伏せに習熟者と未習熟者のそれぞれ2人を1組として作業を3回繰り返し、平均作業時間を求めた。

(2)調査結果:新方式では従来方式と異なり、ホダ木を持ち上げず表裏を半回転させながら押すまたは引く作業で天地返しを行うことができるので、作業時間が軽減された。

その平均所要時間は、習熟者で従来方式13分22秒であったが、新方式では3分01秒と77%の軽減効果があった。未習熟者でも従来方式18分48秒に対して12分34秒と33%の軽減効果があった。

### 3 今後の進め方

今回の調査では、今回の方式で作業を行なうことにより、従来の方法より短時間で作業できることがわかった。

今後は、傾斜地でも適用できるように工夫するとともに、新方式の上部の鋼管を使用したホダ起し作業について検討し、従来方式と収量についても比較を行なう予定である。



今回使用した  
バリケード  
(今回は下側に  
合掌伏せをした)

ホダ木1m<sup>3</sup>当り作業時間



地返し作業状況

		1回目	2回目	3回目	平均
習熟者	新方式	2分46秒	2分39秒	3分37秒	3分1秒
	従来方式	15分35秒	12分42秒	11分47秒	13分22秒
未習熟者	新方式	12分15秒	12分5秒	13分24秒	12分34秒
	従来方式	23分35秒	14分23秒	18分27秒	18分48秒

(担当 特用林産部 主任専門研究員 小原孝文)

連絡先	028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11 TEL019(697)1536 岩手県林業技術センター ホームページアドレス	FAX019(697)1410 <a href="http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/">http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/</a>
-----	---	--